第30回「優秀経営者顕彰」

第30回記念特別賞

最優秀経営者賞

日本シグマックス社長　鈴木 廣三氏（69歳）

《受賞理由》1973年に創業し、サポーターやギプス、関節装具など整形外科向け医療用品を開発・販売してきた。医療機関からの信頼性も高い。医療分野では、蓄積したノウハウを生かしたスポーツ用サポーター「ザムスト」はトップブランドに成長してきており、多くのアスリートらが利用している。

《喜びの言葉》最優秀経営者賞を受賞することは身に余る光栄です。運動機能の維持・向上に向けた「身体活動支援業」を核とした当社も、13年に創業40周年の節目を迎えます。これからは国内に加えて、米国とフランス、中国に拠点を設けており、世界でナンバーワンを目指して参ります。（東京都新宿区、03・5326・3200）

受賞27氏の「喜びの言葉」

≪1面参照≫

地域社会貢献者賞

三州製菓社長　斉之平 伸一氏（64歳）

《受賞理由》高級米菓・洋菓子の製造販売事業を展開。女性の活用や、埼玉県産米「彩のかがやき」をはじめ地元産の農産物を使った地産地消の菓子作りに積極的に取り組む。埼玉県教育委員会委員長を務めるなど子どもの教育にも熱心。

《喜びの言葉》渋沢栄一翁が重視した「義利両全」を胸に経営してきました。来年完成する新工場には農産物直販所や子どもがせんべい焼きを体験できる教室も設置。今後も社会や地域に貢献する企業を目指します。（埼玉県春日部市、048・735・1151）

清水社長　清水 昭允氏（75歳）

《受賞理由》山陰地方有数の鉄鋼加工業者として一次加工から最終の機械加工まで一貫で手がける。設備投資にも積極的で地元雇用に大きく貢献している。その一方で、鳥取県商工会議所連合会会長など公職も多く、地域への貢献度は高い。

《喜びの言葉》受賞ありがとうございます。顧客ニーズも多様性を求められ、新工場で新機械を含めライン化を図りワンストップ化を実現しました。企業も地域も人づくりに力を入れ夢ある社会づくりにがんばります。（鳥取市、0857・23・0990）

震災復興支援賞

リマテック社長　田中 正敏氏（66歳）

《受賞理由》復旧・復興の第一歩は災害廃棄物の迅速な処理と考え、東日本大震災後すぐに副社長を岩手県に派遣。支社を開設して技術をサポートし、がれき処理では地元雇用に貢献した。今も再資源化技術を用いて廃棄物処理を進めている。

《喜びの言葉》受賞を大変光栄に存じます。リサイクル技術で被災された皆さまに貢献できた事は至福の喜びです。地域の皆さまのご支援と従業員に感謝し、今後の復興に社業を通じて取り組んで参ります。（大阪府岸和田市、072・438・6434）

かわむら社長　川村 賢壽氏（63歳）

《受賞理由》東日本大震災で加工工場、冷蔵庫の大半が全壊した。2011年9月には主要な工場、倉庫を再建。さらに気仙沼市鹿折地区の水産加工業者とともに「気仙沼鹿折加工協同組合」を設立。自社の再建、地域の水産業復興に尽力。

《喜びの言葉》一緒に働いてきた社員たちに感謝したい。震災後から会社、地域を立て直すため一生懸命やってきた。これからも社員、地域の方々と手を携え復興に向かい歩んでいきたい。（宮城県気仙沼市、0226・32・2114）

宮城ヤンマー社長　浅野 亨氏（71歳）

《受賞理由》東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県石巻市で、自らも被災しながら地域住民、企業などの応急・復旧支援に尽力。石巻商工会議所会頭として市、宮城県全体の復興に向けて奔走に上る。

《喜びの言葉》受賞できましてありがとうございます。感性を大事に開発に励んできた努力が報われた思いです。良いものを安く作り、使う立場に立って考えてきました。グローバル化の中で、一層良いものを世に出したいです。（横浜市保土ケ谷区、045・381・5511）

ウェルシィ社長　福田 章一氏（73歳）

《受賞理由》地下水をろ過し飲料水にする「地下水膜ろ過システム」を取り扱う。公共水道が断水する非常時の備えとして、全国の病院や地方自治体など900カ所以上に導入実績。東日本大震災では断水地域の給水に貢献した。

《喜びの言葉》今回の受賞は大変光栄です。当社システムが災害時に地域社会に役立っていることは大きな喜びです。次に来る大災害に間に合うよう、早く導入実績を目標の2000件へ到達させたいと思います。（東京都千代田区、03・3262・2431）

優秀創業者賞

ユタカ社長　二神 久光氏（67歳）

《受賞理由》精密加工部品や金型製作が主力業務。難削材の切削加工や高精度の機械加工を得意とし、H−ⅡBロケットのエンジン部品やNASAの国際宇宙ステーションのジョイント部品にも採用されている。

《喜びの言葉》嬉しいです。下を見て生活し、上を目指して仕事をしろと父親に育てられ、常に分不相応の高い目標を目指してきました。数々の失敗や挫折にも懲りずに共に挑戦し続けてくれる社員とその家族、お客さまに心から感謝致します。（松山市、089・971・5501）

シンキー社長　石井 重治氏（72歳）

《受賞理由》1971年、電子計測器メーカーとして創業。撹拌脱泡装置「あわとり練太郎」を開発。材料が入り容器を高速で自転・公転させ、撹拌と同時に気泡を除去する。改良を重ね、内外の幅広い分野で活躍する主力製品へ成長させた。

《喜びの言葉》創業以来、独自製品でお客さまに喜んでいただくことを追求してきました。当社のビジネスモデルが認められ嬉しく思います。今後もお客さまや日本の発展に寄与できる製品を開発していきます。（東京都千代田区、03・3864・5191）

甲賀高分子社長　石田 晃朗氏（71歳）

《受賞理由》「滋賀で成長し地域の発展に貢献する」「地域の人材の受け皿になる」志で起業。プラスチック中心の高分子素材の研究開発型企業で、包装・工業用製品を供給する。人材の海外研修や、フットサル支援など地域貢献にも積極的。

《喜びの言葉》1972年に社員3人と会社を設立、「単品ではナンバーワン」を目標に働いてきました。取引先のご支援でここまでこれました。今後も地元にこだわり、「滋賀発ソリューション企業」を目指します。（滋賀県湖南市、0748・77・2456）

女性経営者賞

ハタノシステム社長　波多野 容子氏（65歳）

《受賞理由》創業者の父の急逝を受け、45歳で2代目社長に就任。業務効率化や人材、新事業育成に力を発揮。10年に参入したバイオマス発電事業では、今年特約店として初めて同システムの施工を受注。業績を順調に伸ばす。

《喜びの言葉》受賞通知をいただき、感激しています。自家発電業界は男社会。最初の5年は無我夢中、次の5年で何とか道が見え、今はほっとしたところです。その間支えていただいた皆さまに感謝申し上げます。（東京都目黒区、03・5740・6261）

青年経営者賞

ライト光機製作所社長　岩波 雅富氏（40歳）

《受賞理由》ライフルスコープ、双眼鏡製造が主力。2003年の社長就任後から新規顧客の開拓、社内合理化に取り組む。12年8月期は過去最高益を確保。顧客満足のため、社員一人ひとりの力と意欲を引き出すことを常に心がけている。

《喜びの言葉》受賞を大変光栄に存じます。名誉ある賞に恥じないよう励みにし新分野に果敢に挑戦します。ライフルスコープを核とする従来製品では、技術を磨き、誰にもまねできない高級品を製造していきます。（長野県諏訪市、0266・52・3600）

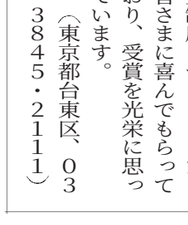
研究開発者賞

仲田コーティング社長　松野 竹己氏（64歳）

《受賞理由》自動車のダッシュボード表面製造用のパウダースラッシュ成形装置など独自開発製品が国内外の大手自動車メーカーに採用、評価されている。特許出願は102件、特許登録は35件に上る。

《喜びの言葉》受賞できましてありがとうございます。受賞を大変光栄に存じます。感性を大事に開発に励んできた努力が報われた思いです。良いものを安く作り、使う立場に立って考えてきました。グローバル化の中で、一層良いものを世に出したいです。（横浜市保土ケ谷区、045・381・5511）

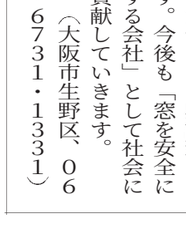
日刊工業新聞社賞



山里産業社長　則武 正平氏（64歳）

《受賞理由》工業用温度センサーメーカー。幅広い分野で販路を拡張。校正事業では業界標準の地位を確立し、国内温度センサー校正証明書の6割を占める。社長就任後の20年余りで、売上高は1・7倍、粗利は2・3倍に伸ばしている。

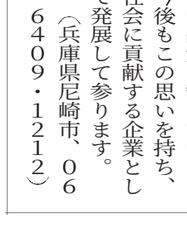
《喜びの言葉》栄えある賞を受賞できたのも、関係者の皆様方のおかげと深く感謝しております。これからも温度を正しく伝え続けることをモットーに、製品の信頼度を一層高め社会の発展に貢献していく所存です。（大阪府高槻市、072・678・3846）



ユニカホールディングス社長　安見 義矩氏（75歳）

《受賞理由》各種ドリルなど電動先端工具の製造販売を行う。内需飽和を見越し、いち早くグローバル戦略を展開。1995年には中国、97年にはベトナムに進出。従業員を全員現地の人材とするなど進出先と融和し、厚い信頼関係を築いた。

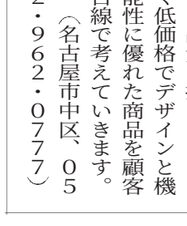
《喜びの言葉》光栄に思います。今後これまでのノウハウを生かし、アジア、中国を強化しながらインド、中東、アフリカ市場も開拓していきます。世界は広大なマーケットがあり、希望に満ちています。（東京都千代田区、03・3864・8722）



サンテン・コーポレーション会長　山本 務氏（71歳）

《受賞理由》商業施設の企画や設計・施工を手がける。1972年の創業以来、40年以上にわたり黒字経営を続け、確固たる経営基盤を築いてきた。また、高岡商工会議所常議員として地域経済復興と活性化にも大きく貢献している。

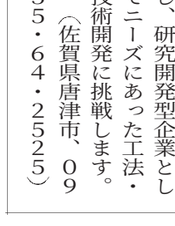
《喜びの言葉》受賞に心より感謝申し上げます。創業以来、顧客第一主義を貫き、努力を積み重ねた結果です。今後「共に喜ぶ」社是の下、顧客・協力会・社員と会社の四位一体で事業に取り組みます。（富山県高岡市、076・24・0023）



山岸製作所社長　山岸 良一氏（55歳）

《受賞理由》1962年創業の薄肉切削会社で経営ビジョンは「日本でいちばん人を大切にする会社」。職業訓練校「ヤマギシテクニカルセンター」で他社社員に技能を伝授。不況時もリストラを避け、人に重点を置いた姿勢が信頼を集める。

《喜びの言葉》創業50周年節目の年に栄誉ある賞をいただき光栄です。従来社員とともに成長してきました。一層人を大切にする会社として皆で協力し、技術開発に重点を置く提案型企業の地位を確立していきます。（群馬県高崎市、027・360・4100）



東洋ボデー社長　中條 守康氏（72歳）

《受賞理由》トラック荷台の製造・販売を手がける。1990年代からIT経営を推進し、08年に経済産業省から「IT経営大賞」の大臣賞を受賞。環境経営にも力を注ぎ、電力消費を無理なく減らす「省電」を実践し成果を上げている。

《喜びの言葉》大変光栄です。振り返れば、激動の中、無我夢中でした。環境の予測外変動を乗り切るには、多くの関係する方々からの助言を糧に、自らの決断と実行の繰り返しでした。基本は変化対応の一言です。（東京都武蔵村山市、042・560・2111）

日本建設技術社長　原 裕氏（63歳）

《受賞理由》創業約60年の建設事業を主力とし、廃ガラスを再資源化した環境材料「ミラクルソル」を開発。同材料を使う環境配慮型工法の開発や、下水道からのリン回収など研究開発を推進。同時に雇用創出を通じ地域活性化に貢献する。

《喜びの言葉》賞をいただき光栄です。21世紀は環境の時代。研究は継続することが重要と確信し取り組んできました。今後も社員と夢を共有し、研究開発型企業としてニーズにあった工法・技術開発に挑戦します。（佐賀県唐津市、0955・64・2525）

伊藤商店社長　池田 律子氏（45歳）

《受賞理由》洋傘の製造卸。デザインや商品企画で社員のアイデアを積極的にくみ上げる経営を貫き、若い社員が多い同社をけん引した。流行を見極め、自社の工夫を施し、ヒット商品を開発。低価格帯商材ながら高い経常利益率を誇る。

《喜びの言葉》このような賞を頂き、大変光栄です。従業員や取引先の皆さまのおかげです。今後も弊社の強みを生かし、品質を損なうことなく低価格でデザインと機能性に優れた商品を顧客目線で考えていきます。（名古屋市中区、052・962・0777）

瀧川会長　瀧川 晃一氏（73歳）

《受賞理由》東日本大震災の被災学生を支援する「滝川奨学金制度」を創設した。岩手、宮城、福島の3県在住で理美容師を目指す高校生のうち2013−15年の就学予定者から毎年9人に専門校卒業まで2年間の学費最大200万円を給付する。

《喜びの声》被災地で経済的な苦境に陥っている理美容師を目指す学生の夢を、何とかかなえてあげたいとの思いで奨学金制度をつくりました。皆さまに喜んでもらっており、受賞を光栄に思っています。（東京都台東区、03・3845・2111）

日本電子工業社長　山之口 良子氏（55歳）

《受賞理由》地震時に一斉解錠する電気錠システムを開発し、阪神淡路大震災では多数の施設で避難経路確保に貢献した。老人ホームなどの転落事故防止に役立つ引き戸用電気錠など、社会ニーズに応える製品開発への挑戦を続けている。

《喜びの言葉》受賞に驚いております。会社としての取り組みが認められたことをうれしく思うとともに、お力添えを頂いた皆さまに感謝致します。今後もこの思いを持ち、社会に貢献する企業として発展して参ります。（大阪市生野区、06・6731・1331）

日興油脂社長　内藤 吉子氏（64歳）

《受賞理由》動植物油脂の精製加工業。26歳で実質経営者となり、養殖漁業の将来性に着目。飼料用添加油脂を製品化、主力に育てた。阪神・淡路大震災から約半年で全面復旧し、東日本大震災では被災した仕入れ先の操業再開にも尽力した。

《喜びの言葉》受賞者に選んで頂き、ご支援頂いた皆さまに感謝します。お客さまの依頼に「はい！喜んで」の気持ちで、高い品質を守っていく。今後もこの思いを持ち、社会に貢献する企業として発展して参ります。（兵庫県尼崎市、06・6409・1212）

日本建設技術社長　原 裕氏（63歳）

《受賞理由》創業約60年の建設事業を主力とし、廃ガラスを再資源化した環境材料「ミラクルソル」を開発。同材料を使う環境配慮型工法の開発や、下水道からのリン回収など研究開発を推進。

《喜びの言葉》創業約60年の建設事業を主力とし、廃ガラスを再資源化した環境材料「ミラクルソル」を開発。同材料を使う環境配慮型工法の開発や、下水道からのリン回収など研究開発を推進。同時に雇用創出を通じ地域活性化に貢献する。

《喜びの言葉》賞をいただき光栄です。21世紀は環境の時代。研究は継続することが重要と確信し取り組んできました。今後も社員と夢を共有し、研究開発型企業としてニーズにあった工法・技術開発に挑戦します。（佐賀県唐津市、0955・64・2525）